

変化の時代に、問いを深める

TOPIC 1

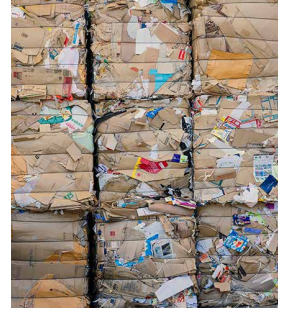


スマートフォンを開けば、知りたいことをすぐに検索できる時代になりました。近年では、AIが答えを示してくれる場面も増えています。便利になった一方で、私たちは「何を考えるか」よりも、「どこに答えがあるか」を探すことに慣れてしまったのかもしれませんが。そこで本紙では、当社の取り組みをお届けするだけでなく、読者のみなさまとともに問いを深める紙面づくりを目指します。すぐに役立つ知識や情報はもちろん大切です。しかしそれだけでなく、日々の仕事や暮らしを少し違う角度から見つめ直し、自分なりの考えを育てるきっかけもお届けしたいと考えています。変化の激しい時代だからこそ、ときには立ち止まり、自分の頭で考え、未来を想像する時間が必要です。本紙がそのための小さな余白となり、新たな視点や気づきと出会う場になれば幸いです。これからも、答えを急ぐのではなく、よりよい問いを探し続ける紙面を目指してまいります。

豊かさをつなぐとは

TOPIC 2

豊かさとは、単に物が多いことではありません。誰かが大切にしてきた想いや知恵、経験や工夫が受け継がれ、次の世代へ手渡されていくこともまた、豊かさの一つです。私たちは日々、目に見える価値に目を向けがちです。しかし社会を支えているのは、名前の残らない多くの人たちによる、小さな受け渡しの積み重ねではないでしょうか。誰かから教わったこと、一冊の本から得た気づき、何気ない会話の中で受け取った言葉。それらは時を超えて人から人へと受け継がれ、新たな価値を生み出していきます。リサイクルも同じです。役目を終えた資源は、回収され、選別され、加工されることで、新たな資源として生まれ変わります。一度不要になったものの中にも、次の可能性が眠っています。



奥富興産が循環させたいのは、資源だけではありません。物を大切に作る心、未来を想像する力、そして受け継がれてきた知恵や経験。そうした目に見えない価値も、未来へつないでいきたいと考えています。私たちは皆、何かを受け取り、何かを次へ手渡す存在です。豊かさとは、その小さな循環が途切れることなく続いていくことなのかもしれません。



編集後記

生成AIの進化によって、私たちはかつてないほど簡単に情報へアクセスできるようになりました。しかし、本当に大切なのは情報の量ではなく、その中にどのような意味を見出すかです。AIは答えの候補を示してくれますが、何を信じ、何に価値を見出し、どのような未来に賭けるのかまでは決めてくれません。想像力とは、一見異なる領域の情報を結びつけ、自分なりの意味を生み出す力です。便利な時代だからこそ、その力をあらためて大切にしたいと感じています。

◆ 本の紹介 ◆



「すべての、白いものたちの」 ハン・ガン/河出文庫

2024年にノーベル文学賞を受賞した韓国の作家ハン・ガンによる代表作の一つです。生後間もなく亡くなった姉への想いを軸に、「白」をめぐる短い文章が静かに紡がれていきます。白は清らかさだけでなく、死や喪失、そして生への願いをも内包した色でもあります。読み終えたあとに残るのは答えではなく、「生きるとは何か」という小さな問いです。忙しい日々の中で、少し立ち止まりたいときに手に取っていただきたい一冊です。



【発行元】
奥富興産株式会社
☎ info@okutomi.co.jp

【編集責任者】
奥富 宏幸

当社への持ち込み
1件あたり10円を
寄付しています！

ユニセフへの累計寄付金額

955,320 円

※2026年6月現在



奥富興産HP
okutomi.co.jp



新サービスHP
hontono.jp

あなたが考える 「豊かさ」とは？

Mission

リサイクルで豊かさをつなぐ

ものがあふれ、
次から次へと消費する生活は豊かとは言えません。
ものに依存しない暮らしとは、資源を大切にすること。
人々のそんなライフスタイルをあたりまえにするために、
私たちはリサイクルで再資源化していく努力をしています。

ごみを最小限にし、資源を生み出し、守っていく。
私たちのビジネスの先には、
新しい時代の豊かさのヒントがある。
そう信じて、豊かさを未来につないでいきます。

QRを読み込んで、問いに対する
あなたの考えをご回答ください！



3名様 /

回答の内容をもとに、
ブックコンシェルジュが
あなたにおすすめの
1冊をお届けします！

